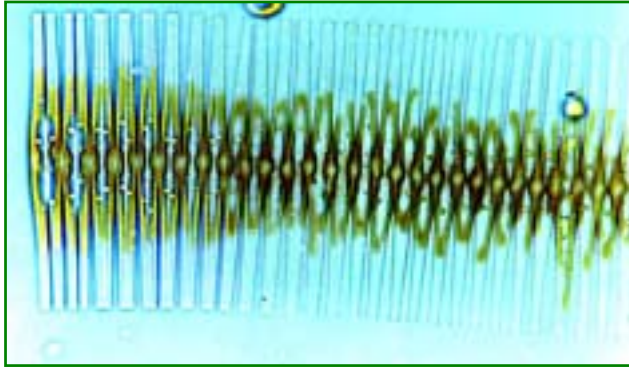


瀬田川プランクトン調査結果速報

～第11報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年6月16日

1. 最も数が多かった種類（優占種） 植物プランクトン第1優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあつて、帯状の群体を形成して浮遊する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント
淡水赤潮を形成するウログレナは見られなくなり、植物プランクトンは全体に減少傾向を示している。しかし珪藻類は比較的多くの種類が見られた。動物プランクトンは、ハネウデワムシやゾウミジンコが多く見られた。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	300

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲殻類	<i>Bosmina longirostris</i>	200

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年6月16日

第11報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄) <i>Chlorocloster</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira varians</i>	10		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	280		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	17		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	24		
(珪) <i>Synedra ulna</i>	1		
(珪) <i>Synedra acus</i>	3		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	60		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	4		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	10	1.8	0.1
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	375	65.9	45.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	31.6	46.1
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	4	0.7	7.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	569	総体積	4.65E+05
種類数	13	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)

ただし*印の種は群体数(群体/ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。